

「安藤財団グローバルチャレンジプロジェクト」 ～2020年へ向けた若手アスリートの海外挑戦支援～ 支援対象者決定のお知らせ

安藤スポーツ・食文化振興財団と日本陸上競技連盟が実施する2020年へ向けた若手アスリートの海外挑戦、武者修行を支援する「安藤財団グローバルチャレンジプロジェクト」の対象者に、現ダイヤモンドアスリートの橋岡 優輝選手(日本大学)、池川 博史選手(筑波大学)、修了生の北川 貴理選手(順天堂大学)、山下 潤選手(筑波大学)をはじめ、計9名の選手が決定しました。世界のトップ選手が集う環境に飛び込み、海外のコーチに指導を乞い、切磋琢磨する中で大きな刺激を受けながら、練習に励んでほしいと期待しています。

■「安藤財団グローバルチャレンジプロジェクト」支援選手一覧

氏名	大学名	学年	年齢	種目	主な日本代表歴・日本選手権等成績	活動先/活動期間(予定)
きたがわ たかまさ 北川 貴理	順天堂大学	3年	21	400m	2015 北京世界選手権 4×400mR 出場 2016 リオデジャネイロ・オリンピック 4×400mR 出場 2017 ロンドン世界選手権 出場	キングストン(ジャマイカ) 2/1～2/20 (20日間)
はしおか ゆうき 橋岡 優輝	日本大学	1年	18	走幅跳	2016 U20 世界選手権 10位 2017 日本選手権 優勝	フロリダ(アメリカ) 1/23～2/22 (31日間)
やました じゅん 山下 潤	筑波大学	2年	20	200m	2016 U20 世界選手権 8位 2017 ユニバーシアード台北 4×100mR 優勝	オークランド(ニュージーランド) 3/10～4/10 (32日間)
いけがわ ひろし 池川 博史	筑波大学	1年	19	やり投	2016 日韓中ジュニア交流 1位 2016 U20 世界選手権 出場	フランクフルト(ドイツ) 2/15～3/1 (15日間)
ウォルシュ ジュリアン	東洋大学	3年	21	400m	2015 ユニバーシアード光州 4×400mR 2位 2016 リオデジャネイロ・オリンピック 400m、4×400mR 出場	キングストン(ジャマイカ) 2/1～2/20 (20日間)
せき はやと 關 颯人	東海大学	2年	20	5,000m	2016 U20 世界選手権 10,000m 9位 2017 出雲駅伝 6区区間賞	ユージーン(アメリカ) 2/4～4/2 (58日間)
たけのうち ゆうた 竹之内 優汰	順天堂大学	1年	19	三段跳	2017 日中韓3カ国ジュニア交流 6位 2017 U20 日本選手権 優勝	シドニー(オーストラリア) 2/7～3/7 (29日間)
たうえ しゅん 田上 駿	順天堂大学	2年	20	十種競技	2016 アジアジュニア選手権 4位 2017 日本インカレ 優勝	シドニー・キャンベラ (オーストラリア) 2/24～3/31 (36日間)
たてざわ りょうじ 館澤 亨次	東海大学	2年	20	1,500m	2015 世界クロスカントリー選手権 出場 2017 日本選手権 1,500m 優勝	ユージーン(アメリカ) 2/4～4/2 (58日間)



公益財団法人

安藤スポーツ・食文化振興財団



日本の短距離第一人者である桐生 ^{きりゅう よしひで} 祥秀選手（東洋大学）も、2016年春・夏の2回、「安藤財団グローバルチャレンジプロジェクト」を活用して海外で武者修行を行い、その経験を生かして、2016年8月、リオデジャネイロオリンピックでの男子4×100mリレー銀メダル獲得、2017年9月、100mにおいて日本人初の9秒台となる9秒98の日本記録を樹立するなど活躍されました。

【公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団について】

安藤スポーツ・食文化振興財団は、日清食品創業者の安藤 ^{あんどうももふく} 百福が、「食とスポーツは健康を支える両輪である」と考え、1983年、私財を提供して設立した公益財団法人です。「走ることはあらゆるスポーツの原点である」という日本陸上競技連盟の考えに、安藤百福が賛同し、1985年から日本陸上競技連盟が主催する「“日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会」、1999年から「“日清食品カップ”全国小学生クロスカントリーリレー研修大会」を後援しています。

2015年からスタートした本プロジェクト実施により、陸上競技の裾野の拡大から、トップレベルの選手育成まで、より広範囲に渡り日本の陸上競技活動を支援していきます。